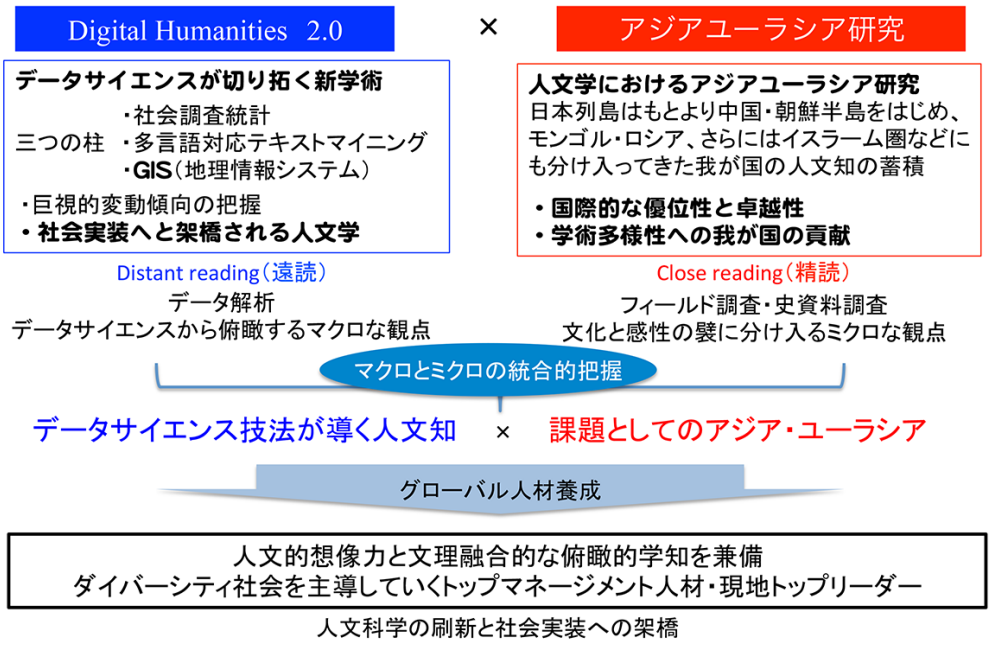
2026 年度 10 月入学者用

岡山大学　卓越大学院プログラム
「アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文学教育プログラム」

履修要項

岡山大学卓越大学院プログラム公式ウェブサイト



内容

１．はじめに 1
２．指導体制、カリキュラム、プログラム修了要件について. 1
⑴ 履修年限（標準修業年限）. 1
⑵ 指導体制について 1
⑶ プログラム修了要件および審査について. 1
第 1 ステージの修了要件 2
第 2 ステージの修了要件 4
第 3 ステージの修了要件 4
⑷ 科目一覧 開講日時 4
⑸ シラバス 4
３．履修登録手続きについて 4

1. はじめに

この履修要項は、卓越大学院プログラムに選抜された大学院生が授業等を履修し、プログラムを完了するために必要な手続きを説明するものです。

なお、本プログラムは「日本・アジア文化専攻」又は「人間社会文化専攻」の通常カリキュラムを履修しながら、それに加えて履修するものであり、本プログラムの履修のみで学位を取得することはできません。また、やむを得ない事情により、本プログラムの履修を途中で辞退した場合でも、通常の修了要件を満たしていれば学位は授与されます。

2. 指導体制、カリキュラム、プログラム修了要件について

(1) 履修年限(標準修業年限)

本プログラムの標準修業年限は 5 年です。(早期修了、長期履修等を希望する場合には別途ご相談ください)。

5 年間の修学期間は、次のとおり 3 つの「ステージ」に分割されており、それぞれのステージにおいて履修状況及び到達度等のチェックを受けます。

博士前期課程 1～2 年次・・・第 1 ステージ

博士後期課程 1～2 年次・・・第 2 ステージ
〃　　3 年次・・・・第 3 ステージ

(2) 指導体制について

ステージごとの指導体制は次のとおりです。千葉大学、長崎大学、熊本大学、総合研究大学の複数の大学の教員による機関の枠を超えた指導を受けることができます。

指導教員は別途配布する「指導教員リスト」をご覧ください。

第 1 ステージ:
主指導教員 1 名・・・当該院生の所属する大学の教員
副指導教員 2 名・・・連携他大学の教員

第 2、第 3 ステージ:
主指導教員 2 名・・・当該院生の所属する大学の教員
副指導教員 2 名・・・連携他大学の教員

(3) プログラム修了要件および審査について

指定された科目の履修ならびに各ステージ最終年次での審査（ゲート審査）に合格することが必要です。各ステージの修了要件（履修科目等）及びゲート審査の詳細は次のとおりです。

なお、本プログラム参加院生は大学院の修了要件である科目に加え、以下に指定した科目(専門科目および本プログラム独自科目)を履修しなければなりません。したがって、一般の大学院生よりも履修する科目が多くなることに留意してください。

【第１ステージの修了要件】

□必修科目（６単位）の修得

次の科目をすべて履修し、６単位を修得してください。

科目名	単位数	備　考
アジアユーラシア研究法	１単位	遠隔授業を含む　※１
Digital Humanities 2.0 研究法	１単位	遠隔授業を含む　※１
統合研究演習Ⅰ　※２	２単位	合同コロキウム（後述）の参加、および、フィールドリサーチ（後述）の実施が修得要条件です。
統合研究演習Ⅱ　※３	２単位	

※１　千葉大学 moodle でのオンライン授業。毎年８月頃に受講案内が届きます。
「Digital Humanities 2.0 研究法」は教育学研究科「テキスト処理演習」「データ連携活用演習」で代替可能です。（2026 年 10 月 6 日加筆）
※２　千葉大学・長崎大学・熊本大学の学生との合同コロキウム参加による単位認定。
※３　2022 年度～2024 年度は合同会社 AMANE 学術野営（岡山県高梁市、北海道夕張郡、東京都台東区）参加による単位認定。

□選択必修科目（６単位）の修得

アジアユーラシア研究科目群から、２～４単位以上修得、
Digital Humanities2.0 科目群から、２～４単位以上を修得してください。

科目群名	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
				必修	選択必修	選択
アジアユーラシア研究科目群（2～4単位以上）	東アジア社会論コア科目	東アジア古代・中世史１	1～2		2	
		東アジア古代・中世史２	1～2		2	
		東アジア古代・中世史演習１	1～2		2	
		東アジア古代・中世史演習２	1～2		2	
	東南アジア社会論コア科目	東南アジア史１	1～2		2	
		東南アジア史２	1～2		2	
		東南アジア史演習１	1～2		2	
		東南アジア史演習２	1～2		2	
		インド洋海域史１	1～2		2	
		インド洋海域史２	1～2		2	
		インド洋海域史演習１	1～2		2	
		インド洋海域史演習２	1～2		2	
	比較文化論コア科目	ヨーロッパ近現代史１	1～2		2	
		ヨーロッパ近現代史２	1～2		2	
		ヨーロッパ近現代史演習１	1～2		2	
		ヨーロッパ近現代史演習２	1～2		2	
		近現代中国文化論１	1～2		2	
		近現代中国文化論２	1～2		2	
		近現代中国文化論演習１	1～2		2	
		近現代中国文化論演習２	1～2		2	
Digital Humanities2.0科目群（2～4単位以上）	統計分析基礎論科目	社会学２	1～2		2	
		社会学演習１	1～2		2	
		社会学演習２	1～2		2	
	テキストマイニング基礎論コア科目	テキストマイニング演習	1～2		2	
		データサイエンス演習	1～2		2	
	GIS基礎論コア科目	GIS演習	1～2		2	

□合同コロキウムへの参加

毎年原則として１度、合宿形式により行う合同ディスカッションを「合同コロキウム」と呼びます。こちらに参加することが必要です（必修科目「統合研究演習Ⅰ」「統合研究演習Ⅱ」の単位取得の条件でもあります)。

また、博士前期２年次の合同コロキウムでは

①リサーチペーパー（後述）の執筆計画の報告
②それぞれのフィールドリサーチ（後述）の成果と見出した課題
③データサイエンスの手法を利用したアプローチの可能性の３つのテーマ
をめぐって報告と討論を行います。

□フィールドリサーチの実施

原則として国外１か所以上を含む２か所以上でフィールドリサーチを行ないます。なお、フィールドリサーチにあたっては、卓越プログラム指導教員等とよく相談した上で、史資料調査、インタビュー調査、学会での報告や情報収集など、研究の発展にとって有用なリサーチを計画してください。また、本研究科共通科目「地域・国際連携インターンシップ」、あるいは連携他大学大学院において開講されている海外実施プログラムや調査実習型科目等への参加をもって、フィールドリサーチの実施として認定することも可能です。

□リサーチペーパーの提出

通常課程の修了要件として提出する修士論文等をもって、本プログラムのリサーチペーパーとして認定することができます。

□ゲート審査

博士後期課程入試の合格を前提としたうえで、第２ステージに向けた本プログラムの継続資格について、別途以下の審査が行われます。

① QE（Qualifying Examination）・・・語学能力試験（原則として英語、中国語、ロシア語から一つ選択)、人文科学基礎教養・特定分野専門知識について試験をおこないます。

② 面接審査（原則として連携大学と合同実施)・・・リサーチペーパーと今後の研究計画について面接を行います。また、この面接審査までに英語、中国語、ロシア語のいずれかでリサーチペーパーのサマリーを提出することも必要です。

【第２ステージの修了要件】

□必修科目（8 単位）の修得

次の科目を修得してください。

科目群名	開講科目名	単位数	備考
アジアユーラシア研究発展科目 ※1	深度異文化理解プログラムⅠ	2	・自ら計画立案・受入交渉 ・長期滞在型リサーチ ・プレゼンテーション・ディスカッション
	深度異文化理解プログラムⅡ	2	
Digital Humanities 2.0 発展科目 ※2	Digital Humanities 2.0 応用研究Ⅰ	2	統計分析・テキストマイニング・GIS いずれか2つ の手法での応用分析プレゼンテーション・ディスカッション
	Digital Humanities 2.0 応用研究Ⅱ	2	

※１　2025 年度は 30 万円/人の予算。予算は毎年変更されますので、受講生各自が学振特別研究員や OU-SPRING などに応募し、研究費を工面する努力が望まれます。
※２　テキストマイニングや統計分析を用いた観光振興案作成、テキストマイニングツールのマニュアル翻訳、Digital Humanities 研究者を招聘した研究会の企画運営など。

□ゲート審査

合同コロキウムにおいて、これまでの研究成果のプレゼン、ディスカッションならびに最終的な学位論文の構想について検討を行います。

【第３ステージの修了要件】

□学位論文

標準修業年限５年間の最終的な成果として学位論文を提出します。

□ゲート審査

学位論文にかかる最終審査をおこないます。審査は原則として連携大学にも同時配信されます。

(4) 科目一覧 開講日時

今年度開講の有無等は通常課程の時間割及び掲示等により確認してください。

(5) シラバス

シラバスは、以下のサイトを参照してください。

URL　https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

3. 履修登録手続きについて

通常課程の履修登録手続きに従い、履修登録期間内に履修登録をしてください。